<<< フレキシ・スイッチング >>>

この製品にはフレキシ・スイッチ（Flexi-Switch®）機能が搭載されています。電子リレー方式のトゥルーバイパスで、踏み方の違いによって通常のラッチ式のスイッチとしても、モーメンタリースイッチ（アンラッチ式）としても使用可能です。

- ラッチ方式のスイッチとしての使用の場合は、通常のエフェクターのスイッチの様にオンにしたい時に一回踏み、オフにしたい時にスイッチを再度一回踏み込んでください。
- モーメンタリー方式のスイッチとしての使用の場合は、スイッチを踏み込んでいる間だけエフェクターがオンになり、一度スイッチを放すとオフになります。

電子リレー方式のスイッチを使用しておりますので、電源が供給されなければ入力された信号は出力されません。

<<< 電源 >>>

消費電流: 38 mA

この製品は9V、ACアダプターで2.1mmのセンターマイナスのアダプターで使用できます。デイジーチェインやトランス方式でないパワーアダプター等の使用ではノイズが乗る事が有りますので当社では推奨しておりません。**また故障の原因になりますので9Vを超える電源は使用しないでください！**

<<< 製品仕様 >>>

入力インピーダンス: 1 MOhm
出力インピーダンス: <1 kOhm

本体サイズ：12.065cm x 6.35cm x 6.35cm

<<< 付属品 >>>

取扱説明書×1
保証書×1
安全上のご注意×1

製品の取扱に関するお問い合わせ先
お客様コミュニケーションセンター　ギター・ドラムご相談窓口
営業時間：月～金曜日　10：00～17：00（土/日曜日・センター指定日除く）
TEL:0570-056-808（ナビダイヤル）または053-533-5003
URL：https://jp.yamaha.com/support/
※都合により、電話番号、名称、営業時間など変更になる場合がございます。

修理に関するお問い合わせ先
ヤマハ修理ご相談センター
営業時間：月～金曜日　10：00～17：00（土/日曜日・センター指定日除く）
TEL:0570-012-808（ナビダイヤル）または053-460-4830

輸入販売元
株式会社ヤマハミュージックジャパン　LM営業部輸入商品課
〒108-8568　東京都港区高輪2-17-11　TEL:03-5488-5445

www.earthquakerdevices.jp
©2020 EarthQuaker Devices LLC

Space Spiral™

説明書

このたびはアースクエイカーデバイセスのスペーススパイラル、モジュレーションディレイを購入して頂きありがとう御座います！ご使用の際にこの説明書を読んで頂けると音決めの際のノブのセッティング等、素早く対応出来ると思いますので是非お読みください。

スペーススパイラルはデジタルでありながらも、６０年代のオイル缶やテープエコーの様なまろやかなエコーを彷彿させるディレイペダルです。ディレイタイムは３０msから６００msまで選択可能で、スラップエコーの様なショートディレイからリピートを最大にしてエコーを無限に発振させる事も可能です。スペーススパイラルの最大の特徴はやはり、オイル缶やテープエコーの再現には欠かせないモジュレーションです。信号の波形や速度を変化させる事が可能で、６つのコントロールを駆使してレトロなエコーの世界を満喫してください！

<<< Pro Tips >>>

Repeatsを上げて自己発振させている時にDelay Timeを動かす事で周波数を変化させる事ができます。

RateとTimeを合わせる事よって（サブディビジョンでも可）リズミックなディレイを演出する事が可能です。Shapeを正方波にしDepthを高く設定するとさらに効果的です。

<<< コントロール >>>

❶ **Time:** ディレイタイムの設定。30msから600msまで調整可能です。なお、Repeatsを上げてディレイを発振させた際にTimeを調整すると発振の際のフリークエンシーが変わりますのでお試しください。

❷ **Repeats:** ディレイのリピートの回数の設定。左に回すと少なく、右に回すと多くなります。3時の方向を過ぎた辺りからディレイの発振が始まります。発振が始まりますと、Repeatsを3時方向前まで戻すまで発振は永遠に続きます。しかもフットスイッチをオフにした際もエフェクター内部で発振は続きます!

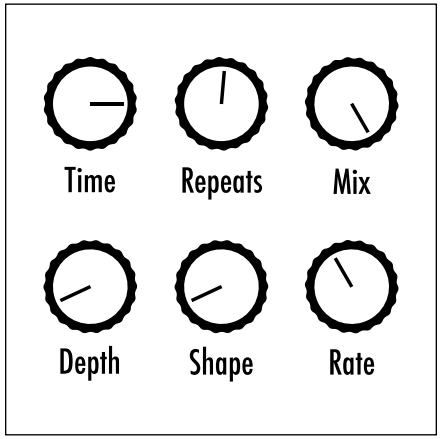
❸ **Mix:** エフェクト音と原音の混ざり具合の調整。

❹ **Depth:** モジュレーションの深さの設定。右に回す毎にモジュレーションが深くなって行きます。

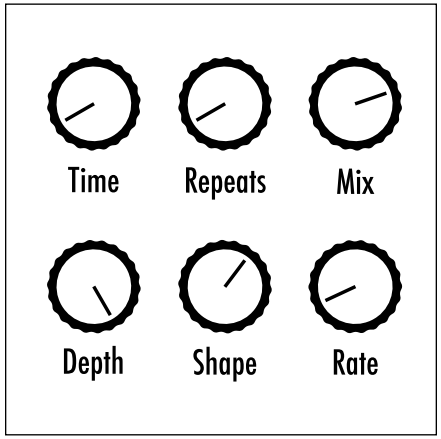
❺ **Shape:** LFOの波形の設定。三角波から正方波まで変化させる事が可能です。左に回し切ると三角波で、右に回す毎によって正方波に変化して行きます。

❻ **Rate:** モジュレーションの速度の設定。こちらをディレイのTimeと同じ速度に設定するとかなりカッコいいリズミックなディレイが生まれます。Depthを深くし、Shapeを正方波にするとさらに効果が増します。

<<< Suggested Settings >>>



Arpeggio Echo
一人でソロを弾いたり実験的な事には最高な、サウンドオンサウンドの様なエコー。



Reel to Reel Chorus
深くリッチで伸びたテープの様なモジュレーション。ステレオの片方の出力に使ってさらに深いステレオイメージも。